P3NK-5202-01Z0

FUJITSU Network SR-X Webユーザーズガイド

V02



はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 サーバとの共存性を高めた、省スペース・省電力の本製品はサーバ間接続に最適です。

2014 年10月初版

本ドキュメントには「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれています。 従って本ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。 Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。 Copyright FUJITSU LIMITED 2014

目次

第 1	はじめに								
	本書の	の構成と使いかた	5						
		本書の読者と前提知識	5						
		本書の構成	5						
		本書における商標の表記について	6						
		本装置のマニュアルの構成	7						
第1	章	本装置への接続	. 8						
	1.1	Windows Vista を使用している場合	9						
		1.1.1 WWW ブラウザを準備する	9						
		1.1.2 本装置のトップページを表示する	10						
	1.2	Windows Vista 以外の OS を使用している場合	.12						
		1.2.1 WWW ブラウザを準備する	12						
		1.2.2 本装置のトップページを表示する	13						
	1.3	画面構成	.15						
	1.4	文字入力フィールドで入力できる文字一覧	.16						
第 2	章	設定	17						
	0.1		10						
	2.1	マルン−⊥−を衣小りる	.18						
	2.2		.19						
		2.2.1 装置名の設定	19						
		2.2.2 IP アトレスの設定	20						
		2.2.3 テノオルトクートリエイの設定	20						
		2.2.4 时刻の設定 2.2.5 管理者パフロードの設定	ZI						
		2.2.5 E E e e	ZI						
	23	2.2.0 歳足の反映	.21						
	2.0	カフノヨノ政府	.ZZ						
		2.3.1 SINIPの設定 23.2 アクセフ答理							
		2.3.2 アクビス官理	.23						
		2.3.3 313200 設定	.24						
	24	2017	25						
	<u> </u>	241 物理ポートの設定	25						
		2.4.7 初連ホ 7.5000000000000000000000000000000000000	.20						
	2.5	VI AN 設定	.27						
	2.0	251 VIANの設定	27						
		2.5.2 設定の反映	28						
	2.6	リンクアグリゲーション設定	.29						
		261 リンクアグリゲーションの設定	29						
		2.6.2 設定の反映	30						
	2.7	() () () () () () () () () () () () ()	.31						
		2.7.1 バックアップポートの設定	31						
		2.7.2 設定の反映	32						
	2.8	ポートモニタリング設定	.33						
	. 2	2.8.1 ポートモニタリングの設定	33						
		2.8.2 設定の反映	34						

第3章	表示	35
3.1	表示メニューを表示する	
3.2	装置情報	
	3.2.1 装置情報	
	3.2.2 インタフェース情報	
	3.2.3 ログ情報	
3.3	統計情報	
	3.3.1 統計情報	40
3.4	ログ情報	41
	3.4.1 システムログ情報(syslog 情報)	41
	3.4.2 エラーログ情報(elog 情報)	41
3.5	隣接装置情報	
	3.5.1 隣接装置情報	
第4章	保守	43
4.1	保守メニューを表示する	44
4.2	USB メモリ	
	4.2.1 ファームウェアの更新	
	4.2.2 構成定義情報の退避	45
	4.2.3 構成定義情報の復元	46
	4.2.4 ログ情報の退避	46
4.3	設定情報	47
	4.3.1 設定情報の表示	47
4.4	装置再起動	
	4.4.1 運用中の構成定義で再起動	
	4.4.2 交替用の構成定義で再起動	
	4.4.3 設定の初期化	48

本書の構成と使いかた

本書では、本装置の基本的な設定方法とメンテナンス情報などについて説明しています。 機器の設置および設定用パソコンの接続方法などは、対象装置の「ご利用にあたって」で説明しています。

本書の読者と前提知識

本書は、ネットワーク管理を行っている方を対象に記述しています。 本書を利用するにあたって、ネットワークおよびインターネットに関する基本的な知識が必要です。 ネットワーク設定を初めて行う方でも「機能説明書」に分かりやすく記載していますので、安心してお読みいた だけます。

本書の構成

以下に、本書の構成と各章の内容を示します。

	章タイトル	内容
第1章 本装置への接続		この章では、本装置への接続方法を説明します。
第2章	設定	この章では、本装置の基本的な設定方法を説明します。
第3章	表示	この章では、本装置の情報を確認する方法を説明します。
第4章	保守	この章では、本装置の保守機能を説明します。

マークについて

本書で使用しているマーク類は、以下のような内容を表しています。

☆ ヒント 本装置をお使いになる際に、役に立つ知識をコラム形式で説明しています。

こんな事に気をつけて 本装置をご使用になる際に、注意していただきたいことを説明しています。

- **補足** 操作手順で説明しているもののほかに、補足情報を説明しています。
- 参照 操作方法など関連事項を説明している箇所を示します。

適用機種 本装置の機能を使用する際に、対象となる機種名を示します。

▲ 警告 製造物責任法 (PL) 関連の警告事項を表しています。本装置をお使いの際は必ず守ってく

たさい。

▲ 注意 製造物責任法 (PL) 関連の注意事項を表しています。本装置をお使いの際は必ず守ってく ださい。

画面例の記述について

Windows Vistaと明らかに異なる画面以外は、Windows XPを使用しています。

本書における商標の表記について

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NTおよびWindows Vistaは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における 商標または登録商標です。

Netscapeは、米国 Netscape Communications Corporationの商標です。

UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

製品名の略称について

本書で使用している製品名は、以下のように略して表記します。

なお、本文中では[®]を省略しています。

製品名称	本文中の表記
Microsoft [®] Windows [®] XP Professional operating system	Windows XP
Microsoft [®] Windows [®] XP Home Edition operating system	
Microsoft [®] Windows [®] 2000 Server Network operating system	Windows 2000
Microsoft [®] Windows [®] 2000 Professional operating system	
Microsoft [®] Windows NT [®] Server network operating system Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft [®] Windows NT [®] Workstation operating system Version 4.0	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Standard Edition	Windows Server 2003
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Enterprise Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2, Enterprise Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Datacenter Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2, Datacenter Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Web Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Standard x64 Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Enterprise x64 Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2, Enterprise x64 Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Enterprise Edition for Itanium-based systems	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Datacenter x64 Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2, Datacenter x64 Edition	
Microsoft [®] Windows Vista [®] Ultimate operating system	Windows Vista
Microsoft [®] Windows Vista [®] Business operating system	
Microsoft [®] Windows Vista [®] Home Premium operating system	
Microsoft [®] Windows Vista [®] Home Basic operating system	
Microsoft [®] Windows Vista [®] Enterprise operating system	
Microsoft [®] Windows [®] 7 64bit Home Premium	Windows 7
Microsoft [®] Windows [®] 7 32bit Professional	

本装置のマニュアルの構成

本装置の取扱説明書は、以下のとおり構成されています。使用する目的に応じて、お使いください。

マニュアル名称	内容
ご利用にあたって	本装置の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
機能説明書	本装置の便利な機能について説明しています。
トラブルシューティング	トラブルが起きたときの原因と対処方法を説明しています。
メッセージ集	システムログ情報などのメッセージの詳細な情報を説明しています。
仕様一覧	本装置のハード/ソフトウェア仕様とMIB/Trap一覧を説明しています。
コマンドユーザーズガイド	コマンドを使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明し ています。
コマンド設定事例集	コマンドを使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
コマンドリファレンス	コマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明しています。
Web ユーザーズガイド(本書)	Web 画面を使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。また、Web 画面の項目の詳細な情報を説明しています。



この章では、本装置への接続方法を説明します。

1.1	Windo	ws Vistaを使用している場合9
	1.1.1	WWW ブラウザを準備する9
	1.1.2	本装置のトップページを表示する10
1.2	Windo	ws Vista以外の OS を使用している場合
	1.2.1	WWW ブラウザを準備する12
	1.2.2	本装置のトップページを表示する13
1.3	画面構	成
1.4	文字入:	カフィールドで入力できる文字一覧16

1.1 Windows Vista を使用している場合

• SR-X526R1の場合

Windows Vistaを使用している場合は、本装置にIPアドレスを設定しなくても、マネージメントポート経由 で本装置に接続し、本装置のトップページを表示できます。

 SR-X316T2/324T2/340TR1の場合
 Windows Vistaを使用している場合は、本装置にIPアドレスを設定しなくても、ether ポート経由で本装置 に接続し、本装置のトップページを表示できます。

1.1.1 WWW ブラウザを準備する

本装置を利用するには、以下のWWW ブラウザを使用してください。

- Microsoft[®] Internet Explorer Version 7.0
- Microsoft[®] Internet Explorer Version 8.0

ブラウザの設定が、「Proxy(プロキシ)サーバ機能」を利用しないようになっていることを確認してください。 以下のように確認します。

- 1. Microsoft[®] Internet Explorer を起動します。
- 2. ツールバーまたはメニューバーの [ツール] から「インターネットオプション」を選択します。
- 3. インターネットオプション画面の「接続」タブで、[LANの設定] ボタンをクリックします。
- 4. プロキシサーバーの「LAN にプロキシサーバーを使用する」が選択されていないことを確認します。



[●] 参照 SFP+スロット経由で接続する場合は、「1.2 Windows Vista以外のOSを使用している場合」(P.12)を参照してください。

1.1.2 本装置のトップページを表示する

WWW ブラウザを使用して、本装置のトップページを表示します。

本装置は1ユーザのみログインできます。コンソールポート/telnet 接続/ssh 接続によりログインしている場合は、WWW ブラウザからのログインはできません。

管理者パスワードを設定すると、WWW ブラウザ画面からの設定/コンソール、telnet からのログイン/FTP サーバ機能使用時に、パスワード入力によってログインを制限することができます。ご購入時の状態では、管理 者パスワードは設定されていません。

● 参照「1.1.1 WWW ブラウザを準備する」(P.9)

こんな事に気をつけて

設定したパスワードを忘れた場合、ご購入時の状態に戻すことによって、パスワードを消すことができます。ただし、それまでの設定内容はすべて失われます。

● 参照 トラブルシューティング「3ご購入時の状態に戻すには」(P.20)

SR-X526R1 で、SFP+スロット経由で接続する場合は、コンソールから IP アドレスを設定する必要があります。

● 参照「1.2 Windows Vista以外のOSを使用している場合」(P.12)

- LAN スイッチなどを介し、本装置複数台に対して WWW ブラウザ接続を行う場合は、必ず装置名の変更を行い、異なる装置名になるように設定してください。
- 1. WWW ブラウザを起動します。
- 2. 本装置のURL(例:SR-X526R1の場合は、「http://sr-x526r1/」)を指定します。

ログイン認証画面が表示されます。

補足」

URLは装置名による接続が可能になっています。 装置名を変更した場合は、変更した装置名でURLを指定してください。

3. 以下の項目を指定します。

- ユーザー名 : admin
- パスワード
 指定しない

sr-x526r1. へ接続	3 💌
SR-X526R1 のサーバー : す。	sr-x526r1. にはユーザー名とパスワードが必要で
ユーザー名(U):	🔮 admin 👻
パスワード(P):	
	──パスワードを記憶する(R)
	OK キャンセル

4. [OK] ボタンをクリックします。

本装置のトップページが表示されます。 トップページは「表示」メニューの「装置情報」です。 Windows Vistaを使用する場合は、インターネットプロトコルバージョン6(TCP/IPv6)が設定されている必要があ ります。

以下の手順で設定します。

- 1. [スタート] [コントロールパネル] をクリックします。
- 2. [ネットワークと共有センター]をクリックします。
- 3. [ネットワーク接続の管理]をクリックします。
- 4. [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。
- 5. 「インターネット プロトコル バージョン6 (TCP/IPv6)」にチェックします。

📱 ローカル エリア接続のプロパティ
ネットワーク
接続の方法
Intel(R) 82566DM-2 Gigabit Network Connection
この接続は次の項目を使用します(_):
✓ 県 Microsoft ネットワーク用クライアント
🛛 🗹 🚚 QoS パケット スケジューラ
✓ 県 Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
✓ ▲ インターネット プロトコル バージョン 6 (TCP/IPv6)
✓ ▲ インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)
✓ ▲ Link-Layer Topology Discovery Mapper I/O Driver
Link-Layer Topology Discovery Responder
インストール(<u>M</u>) 肖『除(山) プロパティ(<u>R</u>) まも88
TCP/IP version 6 です。多様な内部接続のネットワークを超えて、通信 を提供できる最新のインターネット プロトコルです。
 OK キャンセル

6. [プロパティ] ボタンをクリックします。

「インターネット プロトコル バージョン6(TCP/IPv6)のプロパティ」画面が表示されます。

7. [全般] タブで、「IPv6 アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択 されていることを確認します。

インターネット プロトコル バージョン 6 (TCP/IPv6)のプロパティ	? <mark>x</mark>
全般	
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IPv6 設定を自動的に取得することができます。サポートさ い場合は、ネットワーク管理者に適切な IPv6 設定を問い合わせてください。	れていな
 ● IPv6 アドレスを自動的に取得する(○) ● 次の IPv6 アドレスを使う(S): IPv6 アドレス(I): 	
サブネット プレフィックスの長ざ(<u>U</u>): 「「」 デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):	
● DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B) ○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):	
(優先 DNS サーバー(P):	
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):	
「「「」「「」「」「」「」「」「」「」「」」「」「」」「」」「」」「」」「」」	1設定(⊻)
ОК	キャンセル

- 8. [OK] ボタンをクリックします。
 - 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面に戻ります。
- [OK] ボタンをクリックします。
 パソコンを再起動するかを確認するメッセージが表示されます。
- [はい] ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。
 設定した内容は、再起動後に有効になります。

1.2 Windows Vista 以外の OS を使用している場合

Windows Vista以外のOSを使用している場合は、本装置にIPアドレスを設定して本装置に接続し、本装置の トップページを表示します。

1.2.1 WWW ブラウザを準備する

本装置を利用するには、以下のWWW ブラウザを使用してください。

• Microsoft[®] Internet Explorer Version 7.0

Microsoft[®] Internet Explorer Version 8.0
 ブラウザの設定が、「Proxy(プロキシ)サーバ機能」を利用しないようになっていることを確認してください。
 以下のように確認します。

- 1. Microsoft[®] Internet Explorer を起動します。
- 2. ツールバーまたはメニューバーの [ツール] をクリックし、「インターネットオプション」をクリックします。
- 3. インターネットオプション画面の「接続」タブで、[LANの設定] ボタンをクリックします。
- 4. プロキシサーバーの「LAN にプロキシサーバーを使用する」が選択されていないことを確認します。

0	ーカル エリア ネットワーク (LAN) の設定 🔹 💽 🔀
	自動構成 自動構成にすると、手動による設定事項を上書きする場合があります。手動による 設定事項を確保するには、自動構成を使用不可にしてください。
	□設定を自動的に検出する(A) □自動構成スクリプトを使用する(S)
	アドレス(民):
	プロキシ サーバー
	□LAN(こプロキシ サーバーを使用する これらの設定はダイヤルアップまたは VPN 接続には適用されません)⊗
	アドレス(E): ポート(T): 詳細設定(Q)
	□ ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない(B)
	OK キャンセル

Proxy サーバを使用する場合は、以下を参考にして本装置だけを Proxyの対象外にしてください。

1. Microsoft[®] Internet Explorerを起動します。

補足

- 2. ツールバーまたはメニューバーの [ツール] をクリックし、「インターネットオプション」をクリックします。
- 3. インターネットオプション画面の「接続」タブで、[LANの設定] ボタンをクリックします。
- 4. プロキシサーバーの「LAN にプロキシサーバーを使用する」が選択されていることを確認し、[詳細設定] ボタン をクリックします。
- 5. 「HTTP」にプロバイダの Proxy サーバを指定します。
- 6. 例外の「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」に本装置のIPアドレス(192.168.1.1)を指定します。

1.2.2 本装置のトップページを表示する

WWW ブラウザを使用して、本装置のトップページを表示します。

本装置は1ユーザのみログインできます。コンソールポート/telnet 接続/ssh 接続によりログインしている場合は、WWW ブラウザからのログインはできません。

管理者パスワードを設定すると、WWW ブラウザ画面からの設定/コンソール、telnet からのログイン/FTP サーバ機能使用時に、パスワード入力によってログインを制限することができます。ご購入時の状態では、管理 者パスワードは設定されていません。

● 参照「1.2.1 WWW ブラウザを準備する」(P.12)

こんな事に気をつけて

- ・ ご購入時の状態では、IPアドレスは設定されていません。コンソールからIPアドレスを設定してください。
- コンソールでログインしている場合は、WWW ブラウザからのログインはできないため、IP アドレス設定後は忘れず にコンソールからログオフしてください。
- 設定したパスワードを忘れた場合、ご購入時の状態に戻すことによって、パスワードを消すことができます。ただし、それまでの設定内容はすべて失われます。

● 参照 トラブルシューティング [3 ご購入時の状態に戻すには」(P.20)

1. コンソールから本装置の IP アドレス(例: 192.168.1.1)を設定します。

SR-X526R1 でマネージメントポート経由で接続する場合

configure
oob ip address 192.168.1.1/24 3
save
commit
exit

ether ポート経由で接続する場合

configure
lan 0 ip address 192.168.1.1/24 3
lan 0 vlan 1
save
commit
exit

- 2. WWW ブラウザを起動します。
- 3. 本装置のURL「http://192.168.1.1/」を指定します。

ログイン認証画面が表示されます。

4. 以下の項目を指定します。

- ユーザー名
- パスワード
 指定しない



: admin

5. [OK] ボタンをクリックします。

本装置のトップページが表示されます。 トップページは「表示」メニューの「装置情報」です。

1.3 画面構成

Web 画面の構成について説明します。

ここでは、SR-X526R1の場合を例に説明します。

2 500-Xilamager == 192,108.1.1 == ファイル(E) 編集(E) 表示(M) お気に入り	コルース wanager ー Microsoft Internet Explorer)(例) ツール(① ヘルブ(冊)	
🔇 🕫 • 🕥 - 💌 😫 🏠	🔎 検索 🧙 お気に入り 🕢 🔗 🍰 🗃 🛛 🔜 🦓	
アドレス(型) 🕘 http://192.168.1.1/		秋動 リンク ジ ジ ジ ジ お む ジ ジ ジ ジ
	SR-X Manager	
SR-XManager		
表示 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	示〉装置情報	
装置情報		
ロジ指摘	スイッチ名 : SR-VManater 製品名 : SR-VManater 製品名 : SR-VKB2011 シリアル番号 : 00000013 ASIC オノチッコート1582 : 001217P10 基本ソフトウェア1582 : 00126440195 IPアドレス : 102166411 現在7年レノン : 102166411 現在7年レノン : 102166411 現在7年レノン : 102166411 現在7年レノン : 102160411 2009 電話2004101 : Fri Oct 2 115211 2009 には、1000 高度状態 : Fri Oct 2 115211 2009 には、1000 二度が能 : アンノエデ約 : アンノ工業業 消費電力 : 54 W 装置200417 電源状態 : T具に小アンセス 電源状態 : 電源ユニット1 正常(AC電源) 電源状態 : 電源ユニット2 未業装(-)	009
	・ インタフェース構構 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
8	- ログ情報 sysice : Mar 12 17.4508 エラーログ : Thu Mar 19 133658 2009	<u>表示</u> 表示
All Rights Reserved, Copyright FU-	ITSU LIMITED 2009	M

- (1) ログアウト : ログアウトできます。
- (2) ホーム : トップページが表示されます。
- (3) ヘルプ : ヘルプが表示されます。
- (4) [設定] ボタン : 設定メニューが表示されます。
- (5) [表示] ボタン :表示メニューが表示されます。
- (6) [保守] ボタン : 保守メニューが表示されます。
- (7) 詳細機能項目エリア : 各メニューの詳細機能項目が表示されます。
- (8) 接続構成表示エリア :ポートごとに受信した隣接装置情報が表示されます。
- (9) 機能設定・表示エリア:各メニューの詳細機能項目および各メニューの詳細設定・表示画面が表示されます。

● 参照 「2.1 設定メニューを表示する」(P.18)、「3.1 表示メニューを表示する」(P.36)、 「4.1 保守メニューを表示する」(P.44)

1.4 文字入力フィールドで入力できる文字一覧

	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
20		!		#	\$	%(注)	&(注)	"	()	*	+	,	-		/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<(注)	=	>(注)	?
40	@	А	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	К	L	М	Ν	0
50	Р	Q	R	S	Т	U	V	W	Х	Y	Z]	¥(注)]	~	-
60	`	а	b	С	d	е	f	g	h	i	j	k	I	m	n	0
70	р	q	r	s	t	u	v	W	х	У	z	{		}	(注)	

注)ご使用のキーボードによって、「¥」の代わりに「\」、「 ̄」の代わりに「~」を入力してください。ご使 用のターミナルソフトウェアやWWWブラウザによって、「¥」の代わりに「\」、「 ̄」の代わりに「~」 が表示される場合があります。

WWW ブラウザでの設定時に、文字入力フィールドに空白文字、「"」、「<」、「>」、「&」、「%」の文字を入力しないでください。これらの文字を入力した場合、WWW ブラウザで設定できなくなります。

コマンドでの設定時には、「<」、「>」、「&」、「%」の文字は入力できますが、WWW ブラウザでの設定がで きなくなります。WWW ブラウザで設定を行う場合は、これらの文字を使用しないようにコマンドで設定を 変更してください。また、WWW ブラウザで設定を行う場合は、空白文字を使用しないようにコマンドで設 定を変更してください。



この章では、本装置の基本的な設定方法を説明します。

2.1	設定メ	ニューを表示する
2.2 基本設定		定
	2.2.1	装置名の設定
	2.2.2	IPアドレスの設定
	2.2.3	デフォルトゲートウェイの設定
	2.2.4	時刻の設定
	2.2.5	管理者パスワードの設定
	2.2.6	設定の反映
2.3	オプシ	ョン設定
	2.3.1	SNMPの設定
	2.3.2	アクセス管理
	2.3.3	SYSLOG 設定
	2.3.4	設定の反映
2.4	物理ポ・	ート設定
	2.4.1	物理ポートの設定
	2.4.2	設定の反映
2.5	VLAN	設定
	2.5.1	VLANの設定
	2.5.2	設定の反映
2.6	リンク	アグリゲーション設定
	2.6.1	リンクアグリゲーションの設定
	2.6.2	設定の反映
2.7	バック	アップポート設定
	2.7.1	バックアップポートの設定
	2.7.2	設定の反映
2.8	ポート	モニタリング設定
	2.8.1	ポートモニタリングの設定
	2.8.2	設定の反映

2.1 設定メニューを表示する

適用機種 全機種

本装置のトップページで、画面上部の[設定]ボタンをクリックすると、設定メニューが表示されます。 設定メニューでは、本装置を運用するうえで最低限必要な情報を設定することができます。



設定メニューでは、以下の設定ができます。

- 基本設定 装置名/IPアドレスの設定、時刻の設定、管理者パスワードの設定を行います。
- オプション設定 SNMPの設定、装置へのアクセス管理、SYSLOG設定を行います。
- 物理ポート設定 物理ポートの使用可否の設定を行います。
- VLAN 設定
 VLAN ID、VLAN 名、VLAN に属する物理ポートの設定を行います。
- リンクアグリゲーション設定
 リンクアグリゲーションの設定、LACPの設定を行います。
- バックアップポート設定
 バックアップポートの設定を行います。
- ポートモニタリング設定
 ポートモニタリング(ポート・ミラーリング)に関する設定を行います。

基本設定 2.2

適用機種 全機種

設定メニューの [基本設定] をクリックすると、基本設定画面が表示されます。

- 装置名/IPアドレスの設定	
	2
· 注罢-2	
テフォルトケートリェイ	
- 時刻の設定	
-1410/10/2	2
○ 自動で指定のNTP/SNTPサーハと同期	
○ 手動で時刻を設定	
● パソコンから時刻を取得	2009年3月17日17時19分4秒
○時刻を設定しない	
┏ 管理者パスワードの設定	
管理者ユーザ名	admin (固定)
管理者バスワード	•••••
管理者バスワード(確認用)	•••••
登録	

装置名の設定 2.2.1

装置名

本装置の任意な名称を0x21および0x23~0x7eの32文字以内のASCII文字で指定します。

こんな事に気をつけて

- ・ 装置名が指定されていない場合、機種名(例:SR-X526R1)が使用されます。
- SR-X526R1で、マネージメントポートに接続されたLANスイッチなどを介し、本装置複数台に対してWWWブラウ ザ接続を行う場合は、必ず装置名の変更を行い、異なる装置名になるように設定してください。
- ・ LLMNR機能を使用する場合、本装置の名称は英字で始め、英数字、"-"および"_"のみを用いるようにしてください。 LLMNR クライアントで使用できず、本装置名のアドレスが解決できない場合があります。



sysname 装置名

参照 コマンドリファレンス「sysname」

2.2.2 IP アドレスの設定

IP アドレス/ネットマスク

本装置のIPアドレスとネットマスクを指定します。

有効範囲)

1.0.0.1 ~ 126.255.255.254

 $128.0.0.1 \sim 191.255.255.254$

 $192.0.0.1 \,{\sim}\, 223.255.255.254$

こんな事に気をつけて

- IPアドレスに0.0.0.0を設定すると通信ができなくなります。
- 指定した IP アドレスは、「2.5.1 VLAN の設定」(P.27)で指定した管理 VLAN に設定されます。
 SR-X526R1で、マネージメントポートに IP アドレスを設定する場合は、コンソールポート/ telnet 接続/ ssh 接続によりログインし、設定を行ってください。
- SR-X526R1で、マネージメントポートに設定するIPアドレスは、本機能で設定したIPアドレスとは異なるネット ワークアドレスで設定する必要があります。

- ・lan 0 ip address IPアドレス 3
- snmp agent address IPアドレス
 - コマンドリファレンス「lan ip address」、「snmp agent address」
 機能説明書「2.29 SNMP機能」(P.94)
 コマンド設定事例集「18 SNMPエージェント機能を使う」(P.63)

2.2.3 デフォルトゲートウェイの設定

デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイのIPアドレスを指定します。



設定反映時には、以下のコマンドが発行されます。 lan 0 ip route 0 default デフォルトゲートウェイ

● 参照 コマンドリファレンス [lan ip route]

2.2.4 時刻の設定

本装置を運用開始する前に、必ず時刻を設定してください。ご購入時の状態では、時刻は設定されていません。本装置の時刻の設定方法を以下から選択します。

- 指定したNTP/SNTPサーバと同期 本装置の時刻をネットワーク上のNTPサーバおよびSNTPサーバと同期するように設定します。
 同期するNTP/SNTPサーバのIPアドレスを指定します。
 同期間隔は12時間です。
- 手動で時刻を設定
 本装置に指定した時刻を設定します。
 時刻を指定します。
- パソコンから取得した時刻を設定
 本装置にパソコンから取得した時刻を設定します。
- 時刻を設定しない
 本装置に時刻を設定しない場合に選択します。

 設定反映時には、以下のコマンドが発行されます。
 「指定した NTP/SNTP サーバと同期」が設定された場合 time auto server 問い合わせ先サーバの IP アドレス sntp

● 参照 コマンドリファレンス [time auto server]

•「手動で時刻を設定」および「パソコンから取得した時刻を設定」が設定された場合 date 設定時刻

● 参照 コマンドリファレンス「date」

2.2.5 管理者パスワードの設定

管理者パスワードを8~64文字で指定します。

こんな事に気をつけて

```
7文字以下、英字だけ、数字だけのパスワードを設定した場合、および、管理者パスワードの設定を削除した場合は、設
定および削除は行われますが、脆弱である旨の警告メッセージが表示されます。
```

補足

設定反映時には、以下のコマンドが発行されます。 password admin set 管理者パスワード

● 参照 コマンドリファレンス「password admin set」

2.2.6 設定の反映

[登録] ボタンをクリックすると、設定が本装置に反映されます。

2.3 オプション設定

適用機種 全機種

設定メニューの〔オプション設定〕をクリックすると、オプション設定画面が表示されます。

- SNMPアクセスの許可とSNMP Trapの送信					
			?		
SNMPアクセス許可端末のIPアドレス コミュニティ名	書き込み許可	SNMP Trapの影	 定		
192 168 1 10 Community		⊙ v2c	○送信しない		
	○許可 ④ 禁止	Ov2c Ov1	④送信しない		
		0	0 .2.80 0.0		
マクセン 奈利					
776284			2		
	_				
192 100 1 20 Vielnet VIIP VISSH/SFIP V	Web				
V Telnet V FTP V SSH/SFTP V	Web				
- SYSLOG設定					
2					
SYSLOGサーバのIPアドレス 出力対象となるログレベル					
192 . 168 . 1 . 30 🗸 error 🗸 warn 🖌 info 🗌 notice					
192 . 168 . 1 . 40 🗸 error 🗸 warn 🗸 info 🗌 notice					
26.43					
豆砂					

2.3.1 SNMPの設定

本装置に対する SNMP アクセス、および本装置による SNMP Trap 送信に関する情報を設定します。

SNMPアクセス許可端末のIPアドレス

本装置に対してSNMPによるアクセスを許可するSNMPマネージャのIPアドレスを指定します。SNMPマネージャのIPアドレスは2個まで設定できます。

0.0.0.0を指定した場合は、すべての IP アドレスからのアクセスを許可し、Trapの送信は行われません。

有効範囲)

0.0.0.0

 $1.0.0.1 \sim 126.255.255.254$

 $128.0.0.1 \sim 191.255.255.254$

192.0.0.1~223.255.255.254

コミュニティ名

本装置に対してSNMPアクセスする場合、および本装置がTrapを送信する場合に使用するコミュニティ名を、 32文字以内のASCII文字で指定します。

書き込み許可

SNMP マネージャからの書き込みを許可するかどうかを選択します。

SNMP Trapの設定

SNMP マネージャへ SNMP Trap を送信する場合のバージョンを選択します。

「送信しない」を選択した場合、および SNMP アクセス許可端末の IP アドレスに 0.0.0.0 を設定した場合は、Trapの送信は行われません。

おまたのです。

おまたのです。

おまたので、

おまたので、
<

・snmp manager 0 SNMPアクセス許可端末の IPアドレス コミュニティ名 Trapの設定 書き込み許可

• snmp manager 1 SNMPアクセス許可端末の IPアドレス コミュニティ名 Trapの設定 書き込み許可

snmp service on



2.3.2 アクセス管理

本装置に対するアクセス制限およびアクセス方法を設定します。

アクセス許可端末のIPアドレス

本装置に対する telnet、FTP、SSH / SFTP、WWW ブラウザによるアクセスを許可する端末の IP アドレスを指定します。IP アドレスは2 個まで設定できます。

有効範囲)

1.0.0.1 ~ 126.255.255.254 128.0.0.1 ~ 191.255.255.254 192.0.0.1 ~ 223.255.255.254

アクセス方法

指定したIPアドレスの端末に許可するアクセス方法を以下から選択します。

- Telnet
- FTP
- SSH / SFTP
- Web

こんな事に気をつけて

アクセス許可端末のIPアドレスを指定しない場合は、すべての端末から、telnet、FTP、SSH / SFTP、Webによるアクセスが可能となります。

おまたのでは、以下のコマンドが発行されます。

- acl <acl_count> ip アクセス許可端末の IP アドレス /32 any any any
- serverinfo [telnet |ftp | ssh | http] filter [1|2] accept acl <acl_count>
- serverinfo [telnet |ftp | ssh | http] filter [1|2] reject acl <acl_count>
- serverinfo [telnet |ftp | ssh | http] filter default reject
- serverinfo [telnet |ftp | ssh | http] filter default accept

 参照
 コマンドリファレンス「acl ip」、「serverinfo ftp filter」、「serverinfo ftp filter default」、 「serverinfo telnet filter」、「serverinfo telnet filter default」、「serverinfo ssh filter」、 [serverinfo ssh filter default」、「serverinfo http filter」、「serverinfo http filter default」 機能説明書「2.30 SSHサーバ機能」(P.96)
 コマンド設定事例集「21 アプリケーションフィルタ機能を使う」(P.68)

2.3.3 SYSLOG 設定

本装置が SYSLOG を送信する SYSLOG サーバに関する情報を設定します。

SYSLOGサーバのIPアドレス

本装置が SYSLOG を送信する SYSLOG サーバの IP アドレスを指定します。

有効範囲)

1.0.0.1 ~ 126.255.255.254

 $128.0.0.1 \sim 191.255.255.254$

192.0.0.1~223.255.255.254

出力対象となるログレベル

本装置が出力する SYSLOG のログレベル(プライオリティ)を以下から選択します。

- error
- warn
- info
- notice



設定反映時には、以下のコマンドが発行されます。

- ・syslog server address SYSLOG サーバの IPアドレス
- syslog pri 出力対象となるログレベル
 - 参照
 コマンドリファレンス「syslog server address」、「syslog pri」
 コマンド設定事例集「19 システムログを採取する」(P.66)

2.3.4 設定の反映

[登録] ボタンをクリックすると、設定が本装置に反映されます。

物理ポート設定 2.4

適用機種 全機種

設定メニューの「物理ポート設定」をクリックすると、物理ポート設定画面が表示されます。

 物理ポートの設定 設定するポートをクリ 物理ポートの使用 使用する ▼ 登録 	2 <u>全水-ト選択</u> 13572211 2446381012 141018201222425 ックして選択してください。 :選択 :走選択	
ポート番号	物理ポートの使用	
13	使用する	
15	使用する	

10/100/1000BASE-Tポートがある機種の場合は、以下の画面が表示されます。

- 物理ボートの設定					
* <u>1 3 5 7 9 11 13 15</u>	ロージョン 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37	37 39 41 43 「Fundamentary 42 44 c コ 「Suman Constants			
2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36 38 40 42 44 <td< td=""></td<>					
物理ポートの使用 速度設定 クロス/ストレートの自動判別 使用する ● 自動設定(Auto Negotiation 有効) 自動判別する					
登録					
ボート番号 物理ボートの使用 1 使用する 2 使用する	速度設定 自動設定(AutoNegotiation有効) 自動設定(AutoNegotiation有効)	クロス/ストレートの自動判別 自動判別する 自動判別する			

物理ポートの設定 2.4.1

選択された物理ポートに対する設定を行います。

表示されているスイッチ図上のポート部分をクリックすることにより、ポートの選択/選択解除ができます。 [全ポート選択] タグをクリックすることで、枠に囲まれたポート選択ボタンがすべて選択状態となります。

物理ポートの使用

選択された物理ポートを使用するかどうかを選択します。 「使用しない」を選択した場合、物理ポートはリンクアップしません。

▲ 設定反映時には、以下のコマンドが発行されます。 補足 ether <number> use [off|on]

● 参照 コマンドリファレンス [ether use]

こんな事に気をつけて

SR-X340TR1の場合、10/100/1000BASE-Tポート(1~40)とSFP+ポート(41~44)は同時選択できません。

速度設定(SR-X316T2/324T2/340TR1)

選択された物理ポートの速度設定を以下から選択します。

- 自動設定(Auto Negotiation 有効)
- 1000M/全二重
- 100M/全二重
- 100M/半二重
- 10M/全二重
- 10M/半二重

クロス/ストレートの自動判別(SR-X316T2/324T2/340TR1)

選択された物理ポートのクロス/ストレートの自動判別の設定を以下から選択します。

- 自動判別する
- MDI-X

2.4.2 設定の反映

[登録] ボタンをクリックすると、設定が本装置に反映されます。

2.5 VLAN 設定

適用機種 全機種

設定メニューの [VLAN 設定] をクリックすると、VLAN 設定画面が表示されます。

VLANの設定 VLAN設定するボートをクリックしてう 選択されたボートが無い場合VLANE :タグボート :タグボート 新規作成あるいは変更するVLANED VLAN ID	 1 3 5 7 9 11 13 2 4 6 8 10 12 4 3 4 7 7 9 11 4 3 4 7 7 7 7 11 4 3 4 7 7 7 7 10 12 4 3 4 7 7 7 7 10 12 4 3 4 7 7 7 7 10 12 4 3 4 7 7 7 7 10 12 4 3 5 7 7 7 10 12 4 4 4 5 7 7 7 10 12 4 4 5 7 7 7 10 12 4 5 7 7 7 10 12 10 12 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		
1 : default V default 登録	⊙†る ⊙しない		
VLAN ID VLAN名 1 default 10 v10	所属アンタグポート 3-26 1	所属タグボート - -	管理VLAN O

2.5.1 VLANの設定

VLAN ID

ポートVLANを設定するVLAN IDを選択します。

選択された VLAN ID のポート VLAN に設定されているポートがスイッチ図上に以下の色で表示されます。図の ポートをクリックすることにより、ポート VLAN の種別や選択の解除ができます。

: タグポート

選択されたVLAN IDでタグポートとして指定されているポートです。

: アンタグポート

選択された VLAN ID でアンタグポートとして指定されているポートです。 ほかの VLAN ID でアンタグポートに指定されているポートは、アンタグポートとして指定できません。

- :未選択
 選択されたVLAN IDには属さないポートです。
- :デフォルトVLAN

すべての VLAN ID でアンタグポートまたはタグポートとして指定されていないポートは、VLAN ID 1の デフォルト VLAN ポートとして、VLAN ID 1のアンタグポートと同様に扱われます。

新規作成を選択した場合は、新しく作成する VLANの VLAN ID を指定してください。

VLAN名

VLAN ID で選択した VLAN ID のポート VLAN に設定されている VLAN 名が表示されます。

管理 VLAN に指定

選択された VLAN IDの VLAN に本装置に設定した IP アドレスを設定するかどうかを選択します。

こんな事に気をつけて

- ・ 本設定を変更した場合、ほかのVLAN IDの「管理VLAN に指定」も変更されることがあります。
- ・ すべてのポートが未選択の場合、指定された VLAN は削除されます。

vlan <VLAN ID> name VLAN名

- ポート <number> が <VLAN ID> でタグポートとなっている場合 ether <number> vlan tag <VLAN ID>
- ポート < number> が < VLAN ID> でアンタグポートとなっている場合 ether < number> vlan untag < VLAN ID>
- VLAN ID<vid>が管理 VLAN に指定に「する」と設定されている場合 lan 0 vlan <vid>

 ● 参照 コマンドリファレンス「vlan name」、「ether vlan tag」、「ether vlan untag」、「lan vlan」 機能説明書「2.7 VLAN機能」(P.28)
 コマンド設定事例集「1 VLAN機能を使う」(P.8)

2.5.2 設定の反映

[登録] ボタンをクリックすると、設定が本装置に反映されます。

2.6 リンクアグリゲーション設定

適用機種 全機種

設定メニューの[リンクアグリゲーション設定]をクリックすると、リンクアグリゲーション設定画面が表示されます。

ーリンクアグリゲーションの設定		7
	13 15 17 19 21 23 25 14 16 18 20 22 24 26	
リンクアグリゲーションを設定するポートをクリックして選択してくだ ポートは連続している必要があります。	さい。	
選択されたポートが無い場合、リンクアグリゲーショングループが構	训除されます。	
■:赤所属 ■:未所属 ■:他リンクアグリゲーショングループに所 新規作成あるいは変更するリンクアグリゲーショングループを指定 リンクアグリゲーショングループ LACPの使用	「周 してください。	
 ●使用しない ●使用する 		
登録		
	が同ポート	
1	9-10	使用する
2	11-12	使用しない

2.6.1 リンクアグリゲーションの設定

リンクアグリゲーショングループ

リンクアグリゲーションを設定するリンクアグリゲーショングループを選択します。 選択されたリンクアグリゲーショングループに設定されているポートがスイッチ図上に以下の色で表示されま す。図のポートをクリックすることにより、ポートの種別や選択の解除ができます。

- ・所属ポート
 選択されたリンクアグリゲーショングループに属しているポートです。
- 未所属ポート
 リンクアグリゲーショングループに属していないポートです。
- : 他リンクアグリゲーショングループに所属
 選択されたリンクアグリゲーショングループとは別のリンクアグリゲーショングループに属している ポートです。

新規作成を選択した場合は、新しくリンクアグリゲーショングループを作成します。

LACP の使用

選択されたリンクアグリゲーショングループでLACPを使用するかどうかを設定します。

- 使用しない LACPを使用しない静的なリンクアグリゲーションを構成する場合に選択します。
- 使用する LACPを使用した動的なリンクアグリゲーションを構成する場合に選択します。

こんな事に気をつけて

- 「使用する」が選択された場合のLACPは、相手LACP装置に対して自発的にLACPDU周期送信を開始する active モードとなります。
- すべてのポートが未所属ポートの場合、指定されたリンクアグリゲーショングループは削除されます。
- 選択されたポートがポートモニタリング転送先ポートとして設定されていた場合、ポートモニタリング設定は解除されます。
- 選択されたポートがバックアップポートとして設定されていた場合、バックアップポートの設定は解除されます。
- 選択されたポートのVLAN設定が異なる場合、すべてのポートのVLAN設定が選択された最小ポート番号のポートの VLAN設定に変更されます。

たまた、以下のコマンドが発行されます。

- ether 選択最小ポート番号 選択最大ポート番号 type linkaggregation リンクアグリゲーショングループ
- LACPの使用で「使用する」を設定した場合 linkaggregation リンクアグリゲーショングループ mode active
- LACPの使用で「使用しない」を設定した場合 linkaggregation リンクアグリゲーショングループ mode static
- 参照
 コマンドリファレンス「ether type」、「linkaggregation mode」
 機能説明書「2.8 リンクアグリゲーション機能」(P.32)
 コマンド設定事例集「2 リンクアグリゲーション機能を使う」(P.11)

2.6.2 設定の反映

[登録] ボタンをクリックすると、設定が本装置に反映されます。

2.7 バックアップポート設定

適用機種 全機種

設定メニューの[バックアップポート設定]をクリックすると、バックアップポート設定画面が表示されます。

ー バックアップボートの設定 ――		?	
バックアップグループを設定するポートをクリックして選邦	10 12 014 10 13 20 22 24 20 Rしてください。	and the second	
選択されたボートが無い場合、バックアップグループが消 ■:現用 ■:待機 ■:未所属 ■:他バックアップグル	リ除されます。 レープで使用中		
新規作成あるいは変更するバックアップグループを指定 バックアップグループ 1	してください。		
登録			
バックアップグループ 1	現用ボート 13	待機ボート 14	
2	15	16	

2.7.1 バックアップポートの設定

バックアップグループ

バックアップを設定するバックアップグループ番号を選択します。 選択されたバックアップグループに設定されている現用ポートおよび待機ポートがスイッチ図上に以下の色で表 示されます。図のポートをクリックすることにより、ポートの種別や選択の解除ができます。

- :現用ポート
- :待機ポート
- :未所属ポート
- : 他バックアップグループで使用中

新規作成を選択した場合は、新しくバックアップグループを作成します。

こんな事に気をつけて

- ・ すべてのポートが未所属ポートの場合、指定されたバックアップグループは削除されます。
- 選択されたポートがポートモニタリング転送先ポートとして設定されていた場合、ポートモニタリング設定は解除されます。

- 選択した現用ポートがリンクアグリゲーショングループに属していた場合 linkaggregation リンクアグリゲーショングループ type backup バックアップグループ master
- 選択した現用ポートがリンクアグリゲーショングループに属していない場合 ether ポート番号 type backup バックアップグループ master
- 選択した待機ポートがリンクアグリゲーショングループに属していた場合 linkaggregation リンクアグリゲーショングループ type backup バックアップグループ backup
- 選択した待機ポートがリンクアグリゲーショングループに属していない場合 ether ポート番号 type backup バックアップグループ backup

コマンドリファレンス「ether type」、「linkaggregation type」 ● 参照 機能説明書「2.10 バックアップポート機能」(P.36) コマンド設定事例集「4 バックアップポート機能を使う」(P.17)

2.7.2 設定の反映

[登録] ボタンをクリックすると、設定が本装置に反映されます。

2.8 ポートモニタリング設定

適用機種 全機種

設定メニューの [ポートモニタリング設定] をクリックすると、ポートモニタリング設定画面が表示されます。

┏ ボートモニタリングの設定 ───			
			?
	1 3 5 7 9 11 2 4 6 8 10 12	13 15 17 19 21 23 25 14 16 18 20 22 24 26	
モニタリングを設定するポートをクリッ	っして選択してください。		
選択されたポートが無い場合、モニタ	リング設定が削除されま	す。	
転送先ボートに設定されたポートはオ	ペートモニタリング専用ポ	ートとなり通常の通信はできなく	はります。
	洗ポート 未設定		
モニタ対象フレーム	●送信のみ ○受信	のみ	
登録			

2.8.1 ポートモニタリングの設定

モニタ対象フレーム

ポートモニタリングの対象となるフレームを選択します。

- SR-X316T2/324T2/340TR1の場合
 「送信のみ」、「受信のみ」、「送受信」から選択します。
- SR-X526R1の場合
 「送信のみ」、「受信のみ」から選択します。

ポートモニタリングの対象となるポート(ソース・ポート)、および、ポートモニタリングの対象フレームを転送するポート(ターゲット・ポート)がスイッチ図上に以下の色で表示されます。図のポートをクリックすることにより、ポートの種別や選択の解除ができます。

- モニタリング対象ポート
 ポートモニタリングの対象となるポート(ソース・ポート)です。
- :転送先ポート

ポートモニタリングの対象フレームを転送するポート(ターゲット・ポート)です。

:未設定ポート
 ポートモニタリングには属さないポートです。

こんな事に気をつけて

- ・ すべてのポートが未設定ポートの場合、ポートモニタリングの設定は削除されます。
- モニタリング対象ポートで送受信されるすべてのフレームを転送先ポートに転送することはできません。
- 転送先ポートに設定されたポートは、ポートモニタリング専用ポートとなり通常の通信はできなくなります。 (SR-X526R1の場合)
- リンクアグリゲーショングループに設定されているポート、およびバックアップポートに設定されているポートは、 転送先ポートとして選択できません。

★ 設定反映時には、以下のコマンドが発行されます。

- モニタ対象フレームが「送信のみ」の場合 ether 転送先ポート type mirror 0 モニタリング対象ポート tx
- モニタ対象フレームが「受信のみ」の場合 ether 転送先ポート type mirror 0 モニタリング対象ポート rx
- モニタ対象フレームが「送受信」の場合
 ether 転送先ポート type mirror 0 モニタリング対象ポート both
- 参照 コマンドリファレンス「ether type」 機能説明書「2.18 ポート・ミラーリング機能」(P.71) コマンド設定事例集「11 ポート・ミラーリング機能を使う」(P.39)

2.8.2 設定の反映

[登録] ボタンをクリックすると、設定が本装置に反映されます。



この章では、本装置の情報を確認する方法を説明します。

3.1	表示メコ	ニューを表示する....................................	. 36
3.2	装置情報	8	. 37
	3.2.1	装置情報	. 37
	3.2.2	インタフェース情報	. 38
	3.2.3	ログ情報	. 38
3.3	統計情報	8	. 40
	3.3.1	統計情報	. 40
3.4	ログ情報	8	. 41
	3.4.1	システムログ情報 (syslog 情報)	. 41
	3.4.2	エラーログ情報(elog 情報)	. 41
3.5	隣接装置	賃情報	. 42
	3.5.1	隣接装置情報	. 42

3.1 表示メニューを表示する

適用機種 全機種

本装置のトップページで、画面上部の[表示]ボタンをクリックすると、表示メニューが表示されます。 表示メニューでは、本装置の装置情報、統計情報、ログ情報などを確認することができます。



表示メニューでは、以下の情報が表示できます。

- 装置情報 機種名、ソフトウェア版数、シリアルNo、装置名、IPアドレス、MACアドレスなどの情報を表示します。
- 統計情報 物理ポートごとの送受信フレーム数などを表示します。
 ログ情報

エラーログ情報およびシステムログ情報を表示します。

隣接装置情報
 隣接装置のIPアドレス、MACアドレスなどの情報を表示します。

3.2 装置情報

適用機種 全機種

表示メニューの [装置情報] をクリックすると、装置情報画面が表示されます。

は沢信和		
スイッチ名	: L2SW3	
製品名	: SR-X324T2	
シリアル番号 基本ンロトローマ版教	: UUUUUUU2 . V01.05 NV0045 The Oat 4 19:27:29 JST 2012	
MACZELZ	: 502690f00226	
IPアドレス	: 10.35.156.173	
現在時刻	: Fri Oct 19 08:08:25 2012	
装置起動時刻	: Wed Oct 10 11:24:12 2012	
言文定11百半四11年63、1210号	: Wed Oct 10 11:50:53 2012 configi : Wed Oct 10 11:51:36 2012	
温度状態	: 吸気 正常(35 C)	
	: 内部 正常(43 C)	
ファン状態		
消費電刀	: 9W	
- インタフェース情報 - インタフェース情報 - :通信可能ポート - : 通信可能ポート - : エラー/破棄フレームが新	1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 認されたポート 表示しない ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 0
syslog	: Oct 19 08:05:07 表示	
エラーログ	: - 表示	
L		

3.2.1 装置情報

以下の情報が表示されます。

- スイッチ名
- 製品名
- シリアル番号
- ASIC オンチップコード版数 (SR-X526R1)
- 基本ソフトウェア版数
- MACアドレス
- IPアドレス
- 現在時刻
- 装置起動時刻
- 設定情報作成日時(Startup-config / Running-config)
- 温度状態
- ファン状態
- 消費電力
- 装置設置状態(SR-X340TR1/526R1)
- 電源冗長状態(SR-X340TR1/526R1)
- 電源状態(SR-X340TR1/526R1)

3.2.2 インタフェース情報

以下の情報が表示されます。

- ポート状態
 ポートの状態がスイッチ図上に以下の色で表示されます。
 - : 通信可能ポート(リンクアップしているポート)
 - ! 通信可能時にポートでエラーまたは破棄フレームが確認されたポート 画面上のメニュー選択で表示を選択できます。
 - 表示しない(初期状態)
 - 表示する ポートの統計情報に、エラーフレーム(Errors)または破棄フレーム(Discards)のカウン タが計上されている場合に表示されます。
 - 表示する(エラーフレームのみ) ポートの統計情報に、エラーフレーム(Errors)のカウンタが計上されている場合に表示されます。
- [再読込] ボタンをクリックすることで最新の状態が表示されます。 横足
 - <u>
 ・</u>が表示されている場合、[初期化]ボタンをクリックすることで統計情報の初期化を実行し、画面上の <u>
 ・</u>を消す ことができます。

- インタフェース情報		
35m Laur	<u> </u>	2774255 T
2° Entraño ya	2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24	
:通信可能ボート		
! エラー/破棄フレームがも	離認されたポート 表示する ▼	再読込 初期化

3.2.3 ログ情報

以下について、もっとも新しいログ情報が記録された日時が表示されます。

- システムログ情報(syslog 情報)
- エラーログ情報(elog 情報)

[表示] ボタンをクリックすると、syslog およびエラーログの詳細情報が表示されます。

syslog情報

	- syslog情報
	 Mar 13 09:37:50 SR-XManager SR-X526R1: protocol: ether 1 link down Mar 13 09:37:50 SR-XManager SR-X526R1: protocol: lan 0 link down Mar 13 09:37:52 SR-XManager SR-X526R1: protocol: ether 1 link up Mar 13 09:37:52 SR-XManager SR-X526R1: protocol: ether 24 link down Mar 13 09:38:24 SR-XManager SR-X526R1: protocol: ether 24 link down Mar 13 09:38:24 SR-XManager SR-X526R1: protocol: ether 24 link down Mar 13 09:38:24 SR-XManager SR-X526R1: protocol: ether 24 link down Mar 13 09:38:24 SR-XManager SR-X526R1: telnetd: login admin as admin on telnet from 192.168.1.3 Mar 13 09:38:34 SR-XManager SR-X526R1: telnetd: exit admin as admin on telnet from 192.168.1.3 Mar 13 09:38:34 SR-XManager SR-X526R1: telnetd: exit admin as admin on theth from 192.168.1.3 Mar 13 09:38:45 SR-XManager SR-X526R1: telnetd: exit admin as admin on http from 192.168.1.3 Mar 13 09:39:35 SR-XManager SR-X526R1: httpd: login admin as admin on http from 192.168.1.3 Mar 13 09:47:59 SR-XManager SR-X526R1: httpd: login admin as admin on http from 192.168.1.3 Mar 13 11:06:55 SR-XManager SR-X526R1: httpd: login admin as admin on http from 192.168.1.3 Mar 13 11:06:55 SR-XManager SR-X526R1: logon: exit admin as admin on nttp from 192.168.1.3 Mar 13 11:06:55 SR-XManager SR-X526R1: logon: exit admin as admin on console Mar 13 11:10:22 SR-XManager SR-X526R1: logon: exit admin as admin on http from 192.168.1.5 Mar 13 14:18:01 SR-XManager SR-X526R1: httpd: failed login admin on console Mar 13 14:18:10 SR-XManager SR-X526R1: logon: login admin as admin on nttpd from 192.168.1.5 Mar 13 18:17:07 SR-XManager SR-X526R1: logon: login admin as admin on console Mar 13 14:18:101 SR-XManager SR-X526R1: logon: login admin as admin on console Mar 13 18:17:07 SR-XManager SR-X526R1: logon: login admin as admin on console Mar 13 18:17:107 SR-XManager SR-X526R1: logon: login
î	

elog情報

elog	情報							_
[0] Er flag=2 Firm i SR-X52 System down o Loggir Thu Mk Regist sr sr sr sr sr sr sr confie po	rror Log: 10, mode=00, unit= information: 1881 V01.00 PTF: a down informati code [00000080:0 mg time: ur 19 13:36:58 2 er: 00000000] vr00 [003721e8] vr00 [00371ff8] vr00 [003721e8] vr01 [00000000] vr08 [fffffff] vr12 [28342e32] vr18 [43313a20] vr20 [00000004] vr28 [0308ad34] yuration Registe cisr [14]	80, regsp base on: 0000300] 009 spr1 spr05 spr09 spr13 spr13 spr21 spr21 spr21 spr29 r: errdr1 ppear	=032bbc30 [2001d032] [00000009] [032bbd20] [00000004] [0308adba] [68747470] [0308ad3c] [00000001] [0308ad3c] [00] [08080081]	lr gpr02 gpr08 gpr14 gpr18 gpr26 gpr26 gpr30 ipbesr	[003721fc] [0000000] [0132a538] [00000000] [53522d53] [643a2065] [00000000] [00000000] [00000000] [0008ad38] [72]	dar spr03 spr03 spr15 spr15 spr23 spr27 spr27 spr31 errdr2	[00000000] [00000000] [0192c068] [00000200] [37823454] [00000003] [0192a538] [0308a34] [00000001] [00]	

3.3 統計情報

適用機種 全機種

ポート	1秒間に送信したフレーム数(fps)	送信使用率(%)	1秒間に受信したフレーム数(fps)	受信使用率(%)
1	43	50	26	0
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
4	0	0	0	0
5	7102	100	0	0
6	0	0	0	0
7	0	0	0	0
8	0	0	0	0
9	0	0	0	0
10	0	0	0	0
11	0	0	0	0
12	0	0	0	0
13	0	0	142045	100
14	0	0	0	0
15	0	0	0	0
16	0	0	0	0
17	0	0	0	0
18	0	0	0	0
19	0	0	0	0
20	0	0	0	0
21	0	0	0	0
22	0	0	0	0
23	0	0	0	0
24	0	0	0	0
25	0	0	0	0
26	0	0	0	0

表示メニューの [統計情報] をクリックすると、統計情報画面が表示されます。

3.3.1 統計情報

以下の情報が表示されます。

- ポートごとの1秒間に送信したフレーム数 (fps)
- ポートごとの送信使用率(%)
- ポートごとの1秒間に受信したフレーム数(fps)
- ポートごとの受信使用率(%)

3.4 ログ情報

適用機種 全機種

表示メニューの [ログ情報] をクリックすると、ログ情報画面が表示されます。

SARIORIEAN	<u>i</u>								
Mar 09 14:00:08 3	SR-XManager SR-	-X526R1: ini	t: syst	em startup no	ow.				
Mar US 14:00:08 3	SK-AManager SK- SR-VWanager SR	-X526KI: SSF -X526P1• pro	nd: gene stocol:	ether 1 Link	C/priva	ate nost key	pair.		
Mar 09 14:00:36 3	SR-XManager SR	-X526R1: mst	pd: Top	olosv Chanse	ports	information	(CIST last	-port:1 all-	ports:1)
Mar 09 14:00:36 3	SR-XManager SR-	-X526R1: mst	pd: Top	ology Change	detect	ed			
Mar 09 14:00:41 3	SR-XManager SR-	-X526R1: ssH	nd: gene	erated public/	/privat	e host key	pair.		
Mar 09 14:01:03 SR-XManager SR-X526R1: logon: login admin as admin on console Mar 09 14:02:04 SR-XManager SR-X526R1: protocol: lan 0 link up									
Mar 09 14:02:04 SR-XManager SR-X526R1: protocol: lan 0 link up Mar 09 14:02:05 SR-XManager SR-X526R1: enabled: system configuration restarted									
Mar 09 14:02:05 SR-XManager SR-X526R1: enabled: system configuration restarted Mar 09 14:02:21 SR-XManager SR-X526R1: logon: exit admin as admin on console									
Mar 09 14:02:27 3	SR-XManager SR-	-X526R1: pro	tocol:	ether 1 link	down				
Mar 09 14:02:27 3	SR-XManager SR-	-X526R1: pro	tocol:	lan 0 link do	own				
Mar 09 14:02:27 3	SR-XManager SR-	-X526R1: mst	.pd: Bri	dge became ne	ew Root	. Bridge			
Mar 03 14:02:32 3 Mar 09 14:02:32 3	SK-XManager SK SR-XManager SR	-X026KI: pro -X526R1: pro	tocol:	lan 0 link un	up				
Mar 09 14:02:02 3	SR-XManager SR	-X526R1: mst	.pd: Top	ology Change	ports	information	(CIST last	-port:1 all-	ports:1)
Mar 09 14:03:02	SR-XManager SR-	-X526R1: mst	pd: Top	ology Change	detect	ed			
Mar 09 14:05:53 3	SR-XManager SR-	-X526R1: log	;on: log	;in admin as a	admin o	on console			
e log情報 	Error log	s in FLASH - s in DRAM]
log情報 elog"情報 [0] Error Log: flag=80,mode=01 Firm informati SR-X526R1 V01.1	Error log: Error log:),unit=80,regs; on:)0 PTF:base	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30]
log情報 elog'情報 [0] Error Log: flag=80,mode=0 Firm informati SR-X528R1 W01, System down in System down in	Error log: Error log: 0,unit=80,regs on: 0 PTF:base formation:	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30						-]
log情報 elog"情報 [0] Error Log: flag=80,mode=0 Firm informati SR-X526R1 V01. System down in down code [0000	Error log Error log on: J0 PTF:base formation: J0080:00000300	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30]						-	
log情報 elog'情報 [0] Error Log: flag=80,mode=0 Firm informati SR-X526R1 V01.1 System down in down code [000 Logging time] Tru Mar 19, 182	Error log Error log 0.unit=80,regs on: 00 PTF:base formation: 10088:00000300 38-58 2009	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30]							
elogt情報 [0] Error Log: flag=80,mode=00 Firm informati SR-X526R1 V01.1 System down in Jost code [000 Logging time: Thu Mar 19 18; Register:	Error log: Error log: on: 0.unit=80,regs on: 00 PTF:base formation: 10080:00000300 36:58 2009	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30]							
elog情報 [0] Error Los: flag=80.mode=00 Firm informati SR=X528R1 V01.1 System down inu down code [0000 Lossing time: Thu Mar 19 18: Register: srr0 [00:	Error log Error log on: 0.PTF:base formation: 00080:00000300 36:58 2009 371ff8] srr1	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30] [2001d032]	lr.		ar [[0000000]			
elog情報 [0] Error Los: flag=80,mode=00 Firm informati SR-X526R1 W01.1 System down in down code [0000 Losgsing time: Thu Mar 19 13:: Register: srf0 [000 e	Error log: Error log: on: 00 PTF:base formation: 00080:000003000 36:58 2009 371ff8] srr1 000000] pctpr	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30] [2001d032] [00000009]	lr dmiss	[003721fc] de [0000000] in	ar [miss [
elog'ta fail elog'ta fail [0] Error Log: flas=80, mode=00 Firm informati SR-X528FI V01.1 System down in down code [000 Logging time: Thu Mar 19 13: Register: srf0 [00: corr [00] corr [00] spr00 [00] corr [Error log Error log on: 00 PTF:base formation: 00080:00000300 38:58 2009 371ff8] srr1 000000] pctpr 3721e8] gr01	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30] [2001d032] [0020bd20] [002bbd20] [002bbd20]	lr dmiss gpr02 spr02	[003721fc] da [0000000] im [0000000] 583 er	ar [miss [pr03 [pr07]	[00000000] [0000000] [0000000] [01020088]		-	
elog'th# [0] Error Log: flag=80,mode=00 Firm informati SR-X526R1 V01.1 System down int down code (000 Logging time: Thu Mar 19 13: Register: srr0 [000 gpr00 [000 gpr00 [001 gpr00 [001 gpr00 [07]	Error log Error log 0.unit=80,regs on: 00 PTF:base formation: 00080:00000300 36:58 2009 371ff8] sr1 000000] pctpr 3721e8] spr01 000000] gpr05	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30] [2001d032] [00000003] [032bbd20] [0308adba]	lr dmiss gprO2 gprO6	[003721fc] de [00000000] im [00000005] sr [01826388] sr [00000000] sr	ar [miss [pr03 [pr01 [pr11]	[00000000] [00000000] [0000000] [01322088] [01000200]			
elog'h## [0] Error Log: flag=80,mode=00 Firm informati SR-X526R1 V01.1 System down ini down code (000 Logging time: Thu Mar 19 13: Register: srr0 [000 gpr08 [ff: gpr04 [001 gpr08 [ff: gpr02 [28]	Error log Error log 0.unit=80,regs 00 PTF:base formation: 00080:00000300 38:58 2009 371ff8] srr1 000000] pctpr 3721e8] gpr01 000000] spr05 ffffff] gpr03 342e32] gpr13	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30] [00000009] [002bbd20] [00308adba] [0308adba] [67857220]	lr dmiss gpr02 gpr06 gpr106 gpr14	[003721fc] da [00000000] im [00000005] sr [01224538] sr [00000000] [53522453] sr	ar [miss [pr03 [pr07 [pr11 [pr15]	[00000000] [00000000] [00000000] [01322088] [00000200] [37323454]			
elog情報 [0] Error Log: flag=80,mode=00 Firm informati SR-X526R1 V01.1 System down ind down code [000 Logging time: Thu Mar 19 18: Register: srr0 [000 gpr00 [000 gpr00 [000 gpr08 [ff gpr12 [28: gpr86 [40]	Error log Error log: 0.unit=80,regs formation: 00080:00000300 36:58 2009 371ff8] srr1 000000] pctpr 3721e8] spr01 300000] spr05 ffffff] spr03 3182c92] spr13 3182c92] spr13	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30] [00000009] [002bbd20] [0000004] [0308adba] [67857220] [687474200]	lr dmiss gpr02 gpr06 gpr10 gpr14 gpr14 gpr18	[003721fc] da [00000000] in [00000000] gr [0132a538] gr [00000000] [53522d53] gr [643a2065] gr	ar [miss [pr03] pr03 [pr15] pr15 [pr15]	[00000000] [00000000] [0132c068] [00000200] [0132c454] [00000003] [0140c503]			
elog'h#1 [0] Error Los: flag=80, mode=00 Firm informati SrxtS26R1 V01.1 System down inn down code Cogen time: Thu Mar 19 13:: Register: srr0 [00: spr04 [00: spr04 [00: spr04 [00: spr04 [00: spr04 [00: spr06 [43: spr16 [43: spr26 [04: spr26	Error log Error log: 0,unit=80,regs formation: 00080:00000300 36:58 2009 371ff8] srr1 000000] spr05 ffffff] spr03 342e82] spr01 3000001 spr05 fffffff] spr03 313a201 gpr17 3000001 spr21	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30] [2001d032] [002000009] [032bbd20] [032bbd20] [0308adba] [67657220] [68747470] [01350000]	lr dmiss gpr02 gpr06 gpr10 gpr14 gpr18 gpr22 gpr22	[003721fc] da [0000000] in [00000005] sr [0132a538] sr [0132a538] sr [643a2065] sr [643a2065] sr [00000000] sr	ar [miss [pr03 [pr17 [pr18 [pr18] pr23 [pr23 [[00000000] [00000000] [0132c068] [00000200] [0132c68] [00000200] [0132c538] [01308c434]			
elog'th# [0] Error Log: flag=80,modes Firm informati SR-X526RI V01.1 System down in down code [0000 Logging time: Thu Mar 19 13: Register: srf0 [000 gpr04 [000 gpr04 [000 gpr04 [000 gpr04 [000 gpr04 [000 gpr04 [000 gpr04 [200] gpr04 [200] gpr24 [000 gpr24 [000 gpr24 [000] gpr24 [00	Error log Error log: 0.unit=80,reggi 00 PTF:base formation: 00080:000003000 36:58 2009 371ff8] srr1 000000 pctpr 3721e8] spr01 9000001 spr05 ffffff spr09 342e82] spr17 9000001 spr21 9000001 spr21 9000001 spr23	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30] [00000009] [0308adba] [0308adba] [6757220] [01350000] [001850000] [0000001] [0000001] [0000001]	lr dmiss قpr02 قpr10 قpr14 قpr18 قpr22 قpr22 قpr20	[003721fc] da [00000000] im [00000000] gr [53522d53] sg [00000000] gr [53522d53] sg [00000000] gr [00000000] gr [00000000] gr [00000000] gr	ar [pr03 [pr07 [pr15 [pr15] pr23 [pr23] pr21 [pr21]	[00000000] [0000000] [0000000] [0132c088] [0000200] [37323454] [00000003] [0132a538] [0308ad34] [0308ad34]		_	
logtation logtation	Error log 0.unit=80,regsi on: 00 PTF:base formation: 000800:00000300] 36:58 2009 371ff8] srr1 000000] petpr 3721e8] srr1 000000] petpr 3721e8] spr01 342e82] spr13 342e82] spr24 28e91ster:	s in FLASH - s in DRAM p=032bbc30] [00000009] [032bbd20] [0308dba] [67657220] [68747470] [01350000] [01350000] [0308ad3c]	lr dmiss gpr02 gpr10 gpr14 gpr14 gpr22 gpr26 gpr20	[003721fc] de [00000000] in [00000005] sr [00200000] sr [53522d53] sr [643a2065] sr [00000000] sr [00000000] sr [00000000] sr	ar [miss [pr03 [pr11 [pr15 [pr19 [pr23 [pr23 [pr27 [pr31]	[00000000] [00000000] [00000000] [0132.088] [00000200] [37323454] [00000003] [0132.8588] [0308.ad34] [00000001]			

3.4.1 システムログ情報 (syslog 情報)

本装置に記録されているすべてのシステムログが表示されます。

3.4.2 エラーログ情報 (elog 情報)

本装置に記録されているすべてのエラーログが表示されます。

3.5 隣接装置情報

適用機種 全機種

表示メニューの[隣接装置情報]をクリックすると、隣接装置情報画面が表示されます。

臨接装置情報					
リフレッシュ					
SR-XManager					
🕂	装置名	接続ポート番号	IPv6アドレス	IPv4アドレス	MACアドレス
		1	fe80::20c:29ff:fefc:dad7	192.168.100.100	00:0e:c1:80:00:01
📮					
····· ••••••••••••••••••••••••••••••••		1	fe80::20c:29ff:fefc:dad7	192.168.100.100	00:0e:c1:80:00:01
📮					
Contraction and and		1	fe80::20c:29ff:fefc:dad7	192.168.100.100	00:0e:c1:80:00:01
ĒPort (24)					
ex. 🚼		1	fe80::20c:29ff:fefc:dad7	192.168.100.100	00:0e:c1:80:00:01



ų	Vin do ws	s Internet Explorer 🛛 🕅
	1	このスクリプトの実行を中止しますか? このページのスクリプトが、Internet Explorer の実行速度を遅くしています。 スクリプトを実行し続けると、コンピュータが反応しなくなる可能性があります。

3.5.1 隣接装置情報

本装置の物理ポートごとに隣接装置に関する以下の情報が表示されます。

• 隣接装置種別アイコン

「新ア :System Capabilities TLVで "Router, WLAN Access Point" が通知された隣接装置

🔜 📰 😳 System Capabilities TLV で "Router, Bridge" または "Bridge" が通知された隣接装置

🔜 🧭 💠 System Capabilities TLV で "Router" が通知された隣接装置



:上記以外の隣接装置

- 隣接装置 装置名
- 隣接装置 接続ポート番号
- 隣接装置 IPv6 アドレス
- 隣接装置 IPv4 アドレス
- 隣接装置 MAC アドレス

再表示する場合は、[リフレッシュ] ボタンをクリックします。



この章では、本装置の保守機能を説明します。

4.1	保守メ	ニューを表示する	4
4.2	USB 🗡	モリ	5
	4.2.1	ファームウェアの更新	5
	4.2.2	構成定義情報の退避4	5
	4.2.3	構成定義情報の復元4	6
	4.2.4	ログ情報の退避4	6
4.3	設定情	報	7
	4.3.1	設定情報の表示	7
4.4	装置再	起動4	8
	4.4.1	運用中の構成定義で再起動4	8
	4.4.2	交替用の構成定義で再起動4	8
	4.4.3	設定の初期化	8

4.1 保守メニューを表示する

適用機種 全機種

本装置のトップページで、画面上部の[保守]ボタンをクリックすると、保守メニューが表示されます。 保守メニューでは、本装置のファームウェアの更新、構成定義情報の退避/復元、装置の再起動などの操作をす ることができます。



保守メニューでは、以下の保守作業を実行できます。

- USBメモリ USBメモリを使用したファームウェア更新、構成定義情報の退避/復元およびログ情報の退避を行います。
- 設定情報
 設定情報を一覧表示します。
- 装置再起動
 装置の再起動および装置設定の初期化を行います。

4.2 USBメモリ

適用機種 全機種

保守メニューの [USBメモリ]をクリックすると、USBメモリ画面が表示されます。

- ファームウェアの史新		
	2	
ファームウェアファイル名(USBメモリ)		
firmware 💙	更新	
推动完美性把小泪游		
「特成正義前種の必難」		2
退避する構成定義	退避告ファイル名(USB√モリ)	
		记腔
注用+0/1₩/%/2 ₩		Aller
- 構成定義情報の復元		
		2
復元する構成定義	復元元ファイル名(USBメモリ)	_
記動用の構成定義 🗸	config 🗸 🗸	行ー
ALL AND THE MAKE 43	CONTINE	1友/山
		18/1
P====== 177 (M/A=+3)	Connig V	
		I&/L
ログ情報の退産		18./L
ログ情報の退産		18/L
- ログ情報の退選 - 退避するログ情報	Ja遊先ファイル名(USBメモリ)	i&/
- ログ情報の退選 - 退避するログ情報 解析情報	Ja遊先ファイル名(USBメモリ) tech=support(固定)	i&/L
 ログ情報の退選 退避するログ情報 解析情報 エラーログ 	辺避先ファイル名(USBメモリ) tech-support(固定) elog(固定)	18/L

4.2.1 ファームウェアの更新

[更新] ボタンをクリックすると、選択したファイルで本装置のファームウェアファイルを更新します。

ファームウェアファイル名

更新するファームウェアファイルをUSBメモリ内のファイル名から選択します。

4.2.2 構成定義情報の退避

[退避] ボタンをクリックすると、USBメモリに構成定義情報を退避します。

退避する構成定義

退避する構成定義情報を以下から選択します。

- 運用中の構成定義
- 交替用の構成定義

退避先ファイル名

USBメモリに格納する構成定義退避先のファイル名を、0x21および0x23~0x7eの32文字以内のASCII文字で 指定します。

4.2.3 構成定義情報の復元

[復元] ボタンをクリックすると、USBメモリから構成定義情報を復元します。

復元する構成定義

復元する構成定義情報を以下から選択します。

- 起動用の構成定義
- 交替用の構成定義

復元元ファイル名

復元する構成定義ファイルを USB メモリ内のファイル名から選択します。

4.2.4 ログ情報の退避

[退避] ボタンをクリックすると、USB メモリヘログ情報を退避します。 以下のログ情報を退避します。

- 解析情報 退避先ファイル名は「tech-support」となります。
- エラーログ 退避先ファイル名は「elog」となります。
- システムログ 退避先ファイル名は「syslog」となります。

4.3 設定情報

適用機種 全機種

保守メニューの[設定情報]をクリックすると、設定情報画面が表示されます。

装置名/IPア	ドレスの設定				
жа <u>н</u> н ,	装置名	IPア	ペレス /ネットマスク	イン・デフォル	・ ルゲートウェイ
	SR-XManager	1	92.168.1.1/24	192.	168.1.200
時刻の設定					
自動	で指定のNTP/SNTP	サーバと同期		現在の時刻	
	未設定			Wed Mar 18 20:11:40 2	2009
管理者バス「	フードの設定				
	管理者ユーザ	名		管理者バスワード	
	admin	a 1475		設定)資め	
SNMP 7012.	スの許可とSNMP In フロコン	apの))达1言			
SNMP 7-2-2-7	ス計可端未のIP ドレス	_22±1	ニティ名	書き込み許可	í Trap
192.	168.1.10	Com	nunity	許可	v2c
アクセス管理					
7	クセス許可端末	Telne	t FTP	SSH/SFTP	Web
	192.168.1.20	許可	許可	許可	許可
SYSLOG設定					
	SYSLOGサーバのIP	アドレス		出力対象となるログレイ	ベル
	192.168.1.3	0		error,warn,info	
·	192.168.1.4 Ender	U		error,warn,info	
初理小一下の	「「「「「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「		ポートの使用		\$2章4半65 \$2章4半65
	1		使用する	100'	nanvæ Mbos/full
	2		使用しない		
	3		使用する		
	25		使用する		
	20 m1		使用する		
VIANの設定		_	bana y e		
VLAN ID	VLAN名	所属アンタグポ		所属タグポート	。 管理VLA
1	default	3-26		-	
10	v10	1		-	0
リンクアグリク	「ーションの設定				
リンクア	グリゲーショングルー	プ	所属ポート	LAC)Pの使用
	1		9-10 11-12	15	2用する 田(たい)
バックマッキュ	としていた。 こうしょう こうしょう こうしょう しょうしょう しょう		11 12		130-84
יעפירעפירי גע	ックマップグループ		現用ポート	(44)	健ポート
7.11	1		13	14	14
			15		16
	2				
ポートモニタリ	2 ルグの設定				
ポートモニタル モニタ対	2 ルングの設定 象ポート(ソースポー	-ト) 転送先オ	ニート (ターゲットポ	ート) モニタ対	橡フレーム

物理ポート設定の表示内容は、機種によって異なります。

4.3.1 設定情報の表示

設定メニューで設定した内容が表示されます。

4.4 装置再起動

適用機種 全機種

保守メニューの[装置再起動]をクリックすると、装置再起動画面が表示されます。

- 装置再起動	
運用中の構成定義で	再起動
交替用の構成定義です	再起動
設定初期化	

4.4.1 運用中の構成定義で再起動

[運用中の構成定義で再起動] ボタンをクリックすると、現在運用中の構成定義情報で本装置が再起動されます。

4.4.2 交替用の構成定義で再起動

[交替用の構成定義で再起動] ボタンをクリックすると、保存されている交替用の構成定義情報で本装置が再起動されます。

4.4.3 設定の初期化

[設定初期化] ボタンをクリックすると、本装置の設定を初期化してから、再起動されます。

索引

Μ
Microsoft® Internet Explorer9, 12
Proxy サーバ9, 12 U
USB メモリ45 V
VLAN 設定27 W
WWW ブラウザ9, 12 お
オプション設定22 か
画面構成15 き
基本設定19 せ
設定情報47 設定メニュー15, 18 そ
装置再起動48 装置情報37 と
統計情報40 トップページ10, 13
入力文字一覧16

=	╘	_	
2	4	4	
-	~	2	

は

バックアップポート設定31 7 \
0
表示メニュー15, 36 ふ
物理ポート設定25 ほ
ボートモニタリンク設定
ま
マニュアル構成7
り
リンクアグリゲーション設定
3
ログ情報41

SR-X Web ユーザーズガイド

P3NK-5202-01Z0 発行日 2014年10月

	2014年10万
発行責任	富士通株式会社

•本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。

 本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、 弊社はその責を負いません。